



OSGeo

Your Open Source Compass

OSGeo財団日本支部挨拶

森亮 ベンカテツシュラガワン

ご挨拶

- このたびは、皆様お忙しい中、弊財団支部のカンファレンスに、ご来場賜り、誠にありがとうございます。事務局一同、厚く御礼申し上げます。
-
- 2日間の限られた期間ではございますが、皆様どうぞ積極的に活動をしていただき、FOSS4Gツールを理解・活用するだけでなく、その開発と普及にもご参加いただきますよう、心からお願い申し上げます。
-
- なお、弊財団の活動に関して、財政面、人員リソース面でのご協力をよろしくお願い申し上げます。
-

OSGeo財団日本支部運営委員一同

ということで、

堅い挨拶はこれまでにしておいて

いつもの調子でやりましょう！

今回の見どころ

盛りだくさん！

1日目(金曜日)

- 海外から4名の基調講演
 - なかなかこんな機会はありません
 - **Tyler Mitchell**
 - OSGeo財団のExecutive Director
 - Web Mapping Illustrated(入門Webマッピング)の著者
 - **Markus Neteler**
 - GRASSの開発メインストリーム責任者
 - 彼がいるからGRASSがここまで発展した
 - **Lorenzo Becchi**
 - Ka-Map開発メインストリームのアクティブメンバー
 - WPS経由でのGRASS利用でも先駆的な活動
 - **Geoff Zeiss**
 - オートデスク本社の技術ディレクター
 - MapGuideのオープンソース化の立役者

2日目(土曜日)

- 3つの活用事例と2つの技術紹介
 - 国内勢も負けていません
- 活用事例
 - 応用技術株式会社によるMapGuide Open Sourceのソリューション事例
 - 大阪市立大学大学院創造都市研究科による参加型オープンソースGISフレームワーク事例
 - 産業技術総合研究所グリッド研究センターによるGEO Gridでの事例
- 技術紹介
 - オートデスク株式会社による、MapGuide Open Source活用によるWebGIS構築紹介
 - 株式会社オークニーによる、PostLBSで作る経路探索サイト構築紹介

さらに

- **飛び入りゲスト！**

- 8日木曜日に急遽来日の連絡があり

- **Schuyler Erle**

- Google Maps Hacks と Mapping Hacksの著者
- OpenLayersの開発メインストリーム責任者

- 講演日時は土曜日13時を予定

- 変更があり得ます

これも大事

- カンファレンスはOSGeo財団日本支部の年次総会も兼ねています
 - 活動報告
 - 継続した活動ができるための組織化案
 - 財政面での裏付けができるための提案
- など、2日目最後に開催します。

FOSS4G2007で感じたこと

FLOSS4Gが「本物」になった

「本物」ってどういうこと？

- **FOSS4GはFOSSメインストリームそのものの一部になった**

- 世界規模のコミュニティ
- 24x7x365の開発体制
- 利用者の急増
- ものすごい早さの開発スピード
- 企業の参加

もうちょっと具体的に

- **道具立てが揃った**

- FOSS4Gツールの充実
- オープンスタンダードの普及
 - 特にWebサービス時の仕様
- 無償または安価なデータの登場
- センサーデータなどのリアルタイムの情報のインターネットへの提供

- **未知の可能性にあふれている**

- 本来生活に密着した「地理情報」だからあらゆるサービスを組み立てることができる
- だから人や企業が集まってくる

技術的なトレンド

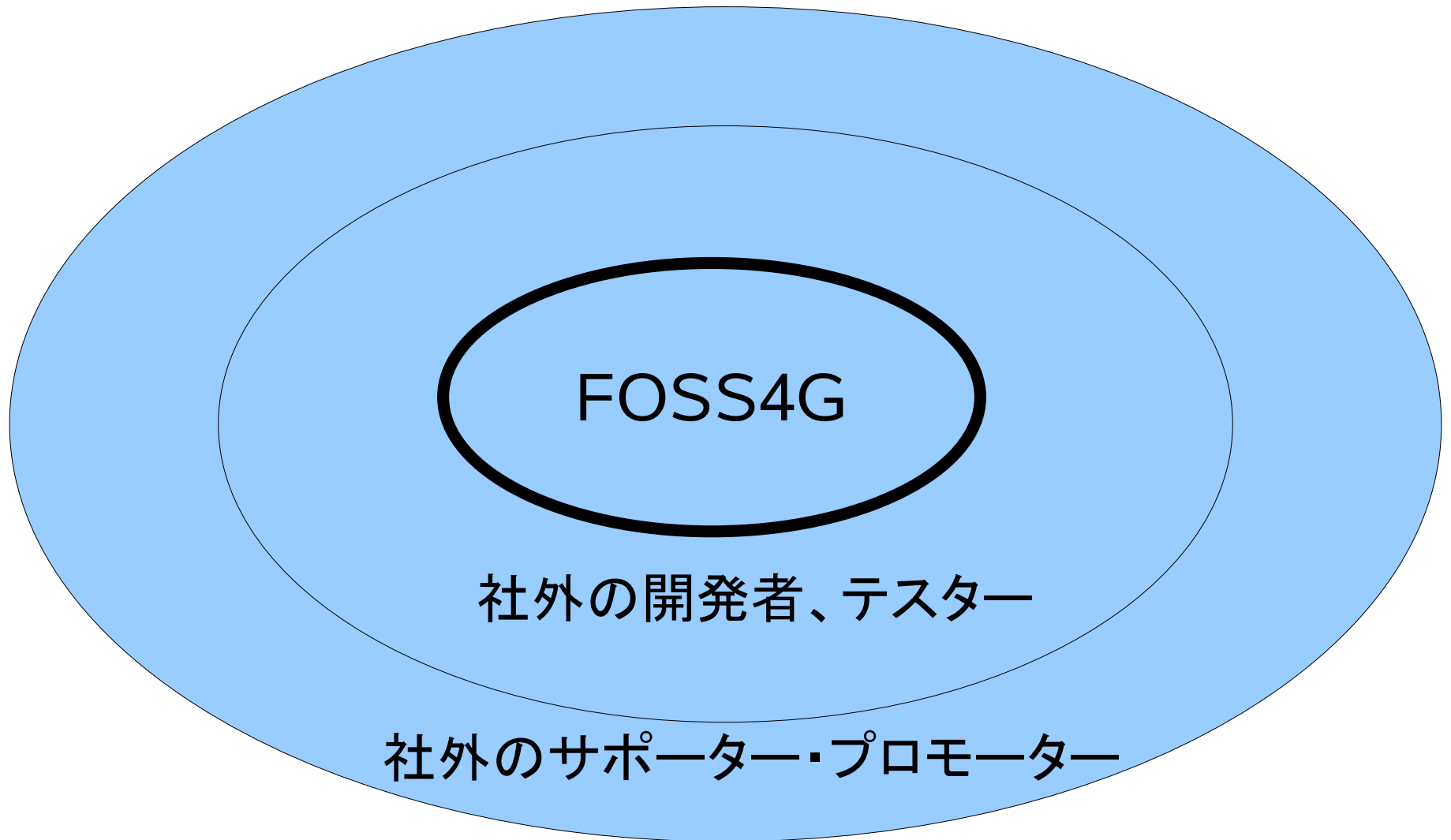
- 変化が激しい
 - 1年一昔
- 勢いが目立つツール
 - OpenLayers、GeoServer
 - WFS-T、WPSなどのWebサービス
 - セミナーへ多数の参加者
 - pgRouting & pgGeocoder
 - マッピングではなくてLBS関連ツールが登場
- 定着したツール
 - GRASS、MapServer、ka-Map
 - 実際の利用者は多いが、セミナーでは意外に目立たない

業界プレイヤーも変化

- FOSS4Gはどこの商用ベンダよりも大きくなった
 - 開発者の数、テスターの数、利用者の数いずれも
 - FOSS4Gはもはやニッチではなくて、メインストリームそのもの
- 商用ベンダは、どのようにしてFOSS4Gと向き合うかが死活問題
 - Autodeskは自らがOSGeo財団に参加
 - ESRIは模索中
 - MapInfoなどその他勢はニッチマーケットにシフトしてメインストリームから待避

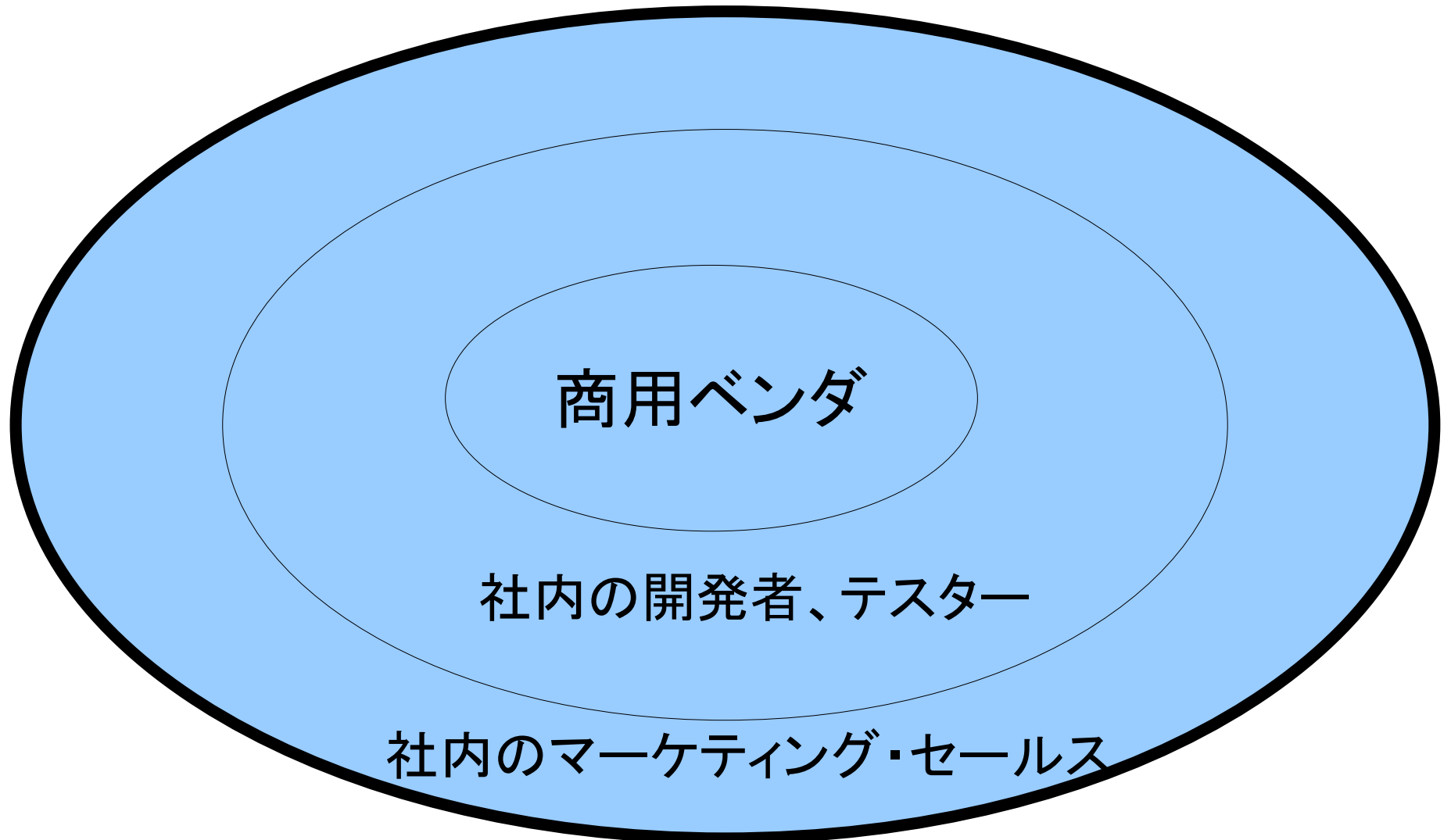
FOSS4G

- 運営主体は小規模だが、コミュニティが大きい



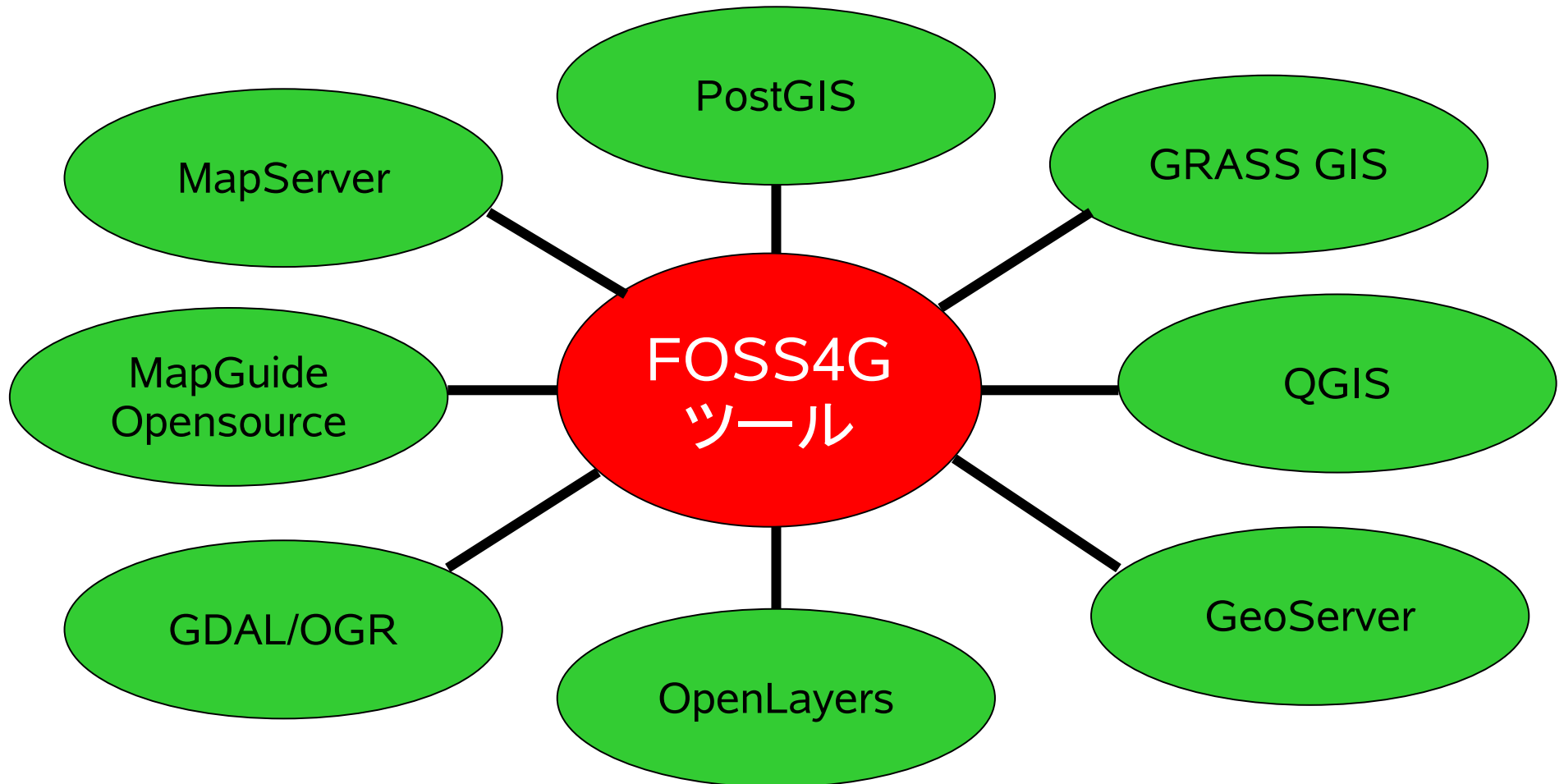
商用ベンダ

- 企業自体は大規模で、コストをかけて囲い込む



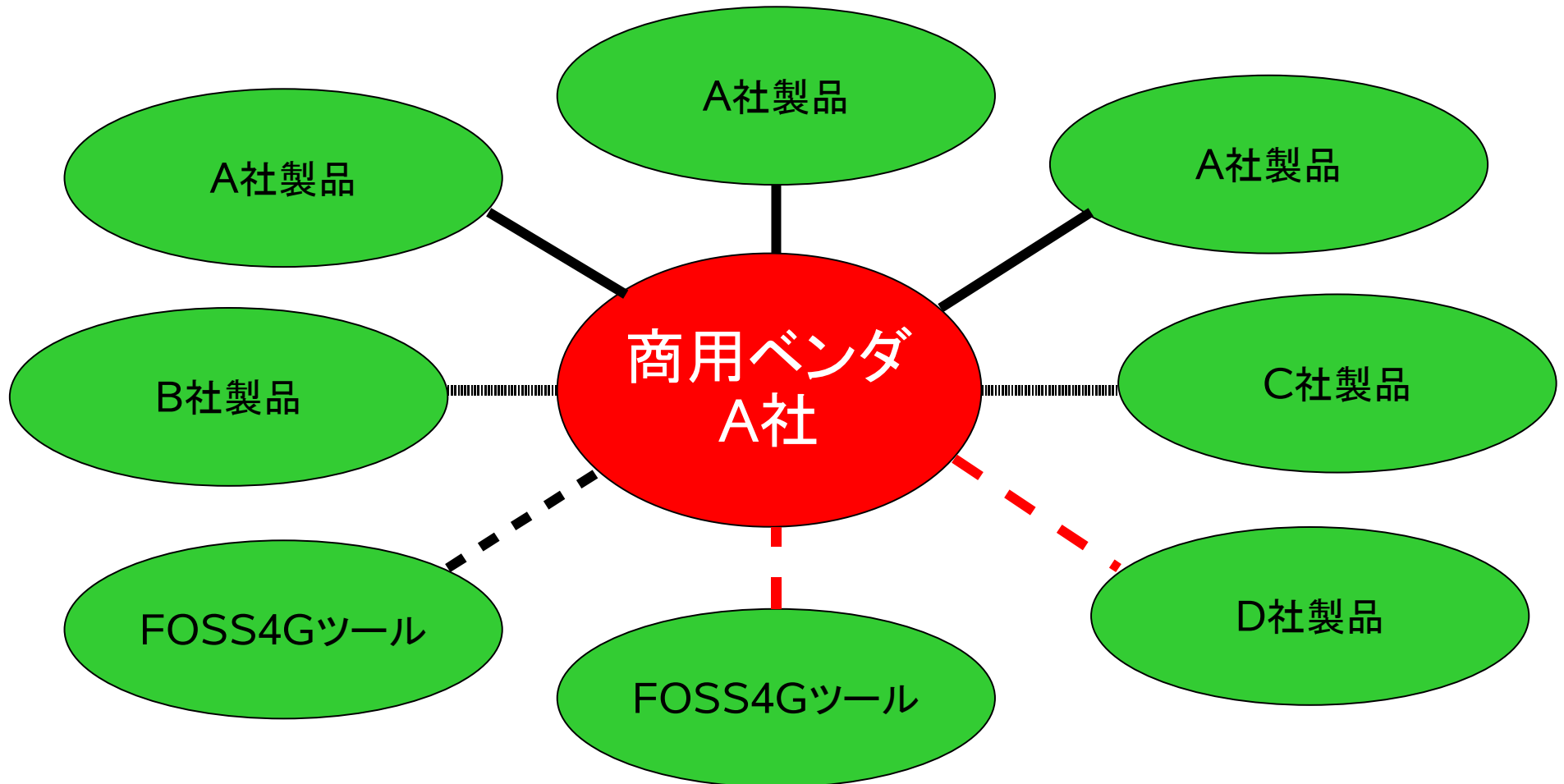
FOSS4Gの輪

特定のブランドでなくともシステムが広がる
オープンスタンダード対応はオープンソースが急速に普及した理由の1つ



商用ベンダの輪

基本は特定のブランドでユーザーを囲い込み
ツールが足りないとソリューションの広がりが止まる
オープンスタンダード対応はいつも遅い



どっちがエコなシステム？

• FOSS4G

- ツールは無償公開して積極的にコミュニティを作る
- 頻繁な更新、バグフィックス
- サポートやコンサルティングサービスで収益を上げる
- 利用者は開発者であっても、サポーターになっても良い
- 自由にツールを乗り換えられる

• 商用ベンダ

- 全て自社で抱え込み、知財、守秘義務で固める
- 年に1回等の限定的な更新、バグフィックス
- 高いライセンス費用を支払う
- 利用者はあくまでも利用者の立場を超えられない
- いつの間にか、ロックインされるおそれ

FOSS4Gは”エコシステム”

- FOSS4Gは
- 技術と利用者のトレンドに
- どこよりも早くキャッチアップして
- 自由で、柔軟な選択肢を提示し
- 利用者の満足度を高める
- 利用者はコミュニティにフィードバックすることで
- FOSS4Gコミュニティは利用者と共に歩み
- コミュニティのエコシステムが機能する

こんなに激しい変化にどうするか

- 波の高低ではない
- 潮の流れを読むことこそ必要

今日ここに来ている人達は

- 最新の情報を知ることができ
- 波の高い低いも
- 潮の流れも
- 同時に知ることができる
- しかも**無償**で！

- あっ、、、英語！ (^_^;)

会場案内

- メイン会場は、この6F講義室
 - 2日目午前中は他の企画で使います
- 展示ブース
 - 1日目はKOF展示会場(マーレ広場)で
 - 2日目はこの会議室の後方で
 - 2日目午前11時半に展示会場のステージに出演！
- 懇親会
 - 1日目午後6時半からマーレ広場で
 - KOFの懇親会に合流



OSGeo

Your Open Source Compass

ぜひ、楽しんでください